

第113期 中間事業のご報告

株主通信

2022年4月1日～2022年9月30日

株式会社 橋本チエイン

証券コード | 6371

持続可能な社会の実現と事業拡大の両立に向け、「聖域なき改革」に挑戦していきます。

株主の皆様には、平素より格別のご支援、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2022年度上半期の連結業績について

2022年度上半期の連結業績は、売上高1,189億円、営業利益83億円(営業利益率7.0%)となりました。

ロシア、ウクライナ情勢の長期化や新型コロナウイルスの感染拡大に伴う中国主要都市のロックダウンなどにより世界経済は不透明な状況で推移しましたが、当社グループの業績は、チェーン事業の販売好調や円安などにより前年同期比16.0%の増収、営業利益についても2.3%の増益となりました。

ただし、原材料・エネルギー価格の高騰や部品不足、米国での人件費高騰などにより、営業利益率は7.0%と前年同期より1.0ポイントのダウンとなりました。

連結業績ハイライト

売上高	1,189 億円	前年同期比 16.0% ↗
営業利益	83 億円	前年同期比 2.3% ↗
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	67 億円	前年同期比 2.0% ↗
1株当たり 配当金	60 円	前年同期比 20.0% ↗

2022年度の通期連結業績予想について

2022年度の通期連結業績予想については、円安の進行が続くと思われる反面、足元の受注環境、依然として続く部品不足や原材料・エネルギー価格の高騰などの不確定要素を考慮した結果、本年5月11日に公表した数値を据え置くことといたしました。

2022年度 通期連結業績予想(2022年5月11日公表)

売上高	2,400億円
営業利益	200億円
経常利益	206億円
親会社株主に帰属する当期純利益	149億円

2022年度 配当予想(2022年5月11日公表)

年間 130円/株(中間 60円、期末 70円)、連結配当性向 32.3%

世界経済は、今後も不透明な状況が続くと予想されますが、当社グループは「中期経営計画2025」で策定した戦略を着実に実行し、既存事業の収益性強化と新事業の創出に注力してまいります。持続可能な社会の実現と事業拡大の両立に向け、当社グループは「聖域なき改革」に挑んでまいりますので、株主の皆様には、より一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年11月

代表取締役会長
兼 CEO
古世 憲二

代表取締役社長
兼 COO
木村 隆利



世界に広がる つばきのネットワーク

「中期経営計画2025」達成に欠かせない 海外子会社をご紹介します！

つばきグループは、1970年の台湾合併会社設立を皮切りに、1971年には北米進出の拠点としてアメリカに現U.S. Tsubaki Holdings, Incを設立、その後も欧州、東アジア、環インド洋とグローバルビジネスの拡大に向け海外拠点を拡充してきました。

2022年9月現在、米州には18社のグループ会社を擁しています。今回は、Mayfran International, Incorporatedのほか、カナダに拠点を置くTsubaki of Canada Limited、メキシコのTsubakimoto Automotive Mexico S.A. de C.V.の3社をご紹介します。



マテハン事業



Mayfran International, Incorporated (MFI)

MFIは1933年創業、2012年につばきグループの傘下に入りました。主要製品は、金属加工の際に生じるチップやスクラップを搬送するコンベヤで、顧客業界は自動車、工作機械、医療機器、宇宙機器など多岐にわたります。一口にチップ・スクラップといっても形状は様々で、人体に有害な切削油が含まれていることもあります。MFIは創業以来培ってきた技術力で、顧客に安全かつ最適なコンベヤを納入し、生産ラインを支えています。

紹介者: Bill Shreves
(Vice President of Operations)

MFIのここが自慢です！



MFIは、従業員とのコミュニケーション活性化を目的に、四半期ごとにコミュニケーション・ミーティングを実施し、ビジネスの状況や問題点、今後の目標などを共有しています。また、社員感謝デーやピクニック、ホリデーパーティーなどのイベントも開催しており、様々なアクティビティを通じて、従業員同士の親睦も深めています。

ちょっと寄り道



MFI所在地のオハイオ州クリーブランドには、「ロックの殿堂」The Rock and Roll Hall of Fame and Museumがあります。「殿堂入り」とは、この博物館に記録が展示・保管されること。アーティストの衣装や機材など、合わせて10万点以上が展示される世界最大級の音楽の博物館として、観光名所となっています。

TCLのここが自慢です!

パワトラ事業



Tsubaki of Canada Limited (TCL)

TCLは1973年設立、カナダ国内の林業、鉱業、自動車、鉄鋼、食品、一般製造業など様々な業界向けに動力伝動用チェーンなどのパワトラ製品を販売しています。特に、カナダの豊富な森林資源を背景として発達した林業向け製品は、耐久性などから高い評価を得ています。今後も顧客の要望に最適な製品を開発・提案することで、つばき製品の優位性を高め、シェア拡大に取り組んでいきます。

TCLでは、月に一度、従業員と家族を対象にしたイベントを開催し、従業員の士気向上の一助となっています。夏の定番はバーベキュー! ケータリング料理や音楽、ゲームなどをして楽しみます。今年の12月はクリスマスイベントを企画中! 従業員は今から楽しみにしています。

紹介者:写真左から順に

Fernando Andrade (Vice President Finance & Administration)
Kevin Carney (Production Control Manager)
Boris Bulatovic (Director of Manufacturing)
John Davis (Vice President Sales Marketing)



ちょっと寄り道



本社所在地のオンタリオ州には、世界三大瀑布の一つとして有名なナイアガラの滝があります。隣接のクイーン・ビクトリア・パークで滝を眺めながらピクニックを楽しむのが休日のリフレッシュです。

モビリティ事業



Tsubakimoto Automotive Mexico S.A. de C.V. (TAM)

TAMは2012年設立、自動車エンジン用タイミングチェーンシステムや4輪駆動車向けパワードライブチェーンを生産しています。出荷先は、メキシコ国内はもとより日本、欧州、韓国そしてブラジル等多岐にわたり、中南米ビジネスの拠点となるポテンシャルを秘めています。今後も、モビリティ事業のマザー工場である埼玉工場で培った高い技術で、QCDS(品質、価格、納期、安全)を満たす高品質な製品の提供、TAM従業員全員のチームワーク発揮、そして職場改善によるパフォーマンス向上により更なる発展を目指していきます。



紹介者: **Antonio Del Rio**
(Production & Maintenance Manager)

TAMのここが自慢です!



最近リニューアルオープンした工場内の食堂にはテラス席があり、従業員の憩いの場となっています。季節に応じたメキシコの家庭料理は従業員のパワーの源!

ちょっと寄り道



TAMから車で40分程度の山中に、メキシコで最も美しいと言われているグアナフアトと呼ばれる小さな町があります。町は色鮮やかな家々が建ち並び、町全体が世界遺産。ディズニー映画「リメンバー・ミー」に登場する死者の国はこのカラフルな街並みをモデルにしており、観光客も絶えません。

チェーン事業

産業用スチールチェーンは世界シェアNo.1

モノが動くところに「チェーン」あり。国内外の様々な産業向けに、世界シェアNo.1の産業用スチールチェーンをはじめとした約2万種類のラインアップから生産性向上、省エネ、環境改善につながる最適なチェーンを最高の品質でお届けしています。

【主要商品】

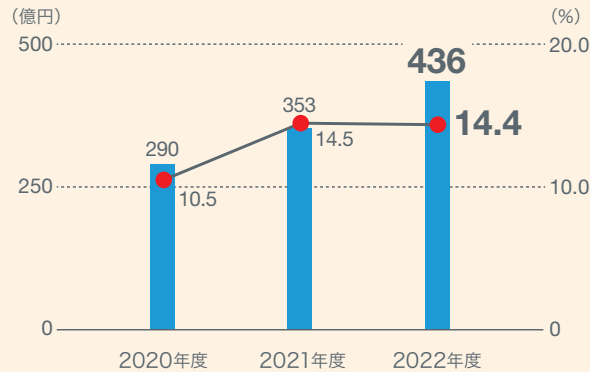
ドライブチェーン、コンベヤチェーン、スプロケット、ケーブル・ホース支持案内装置など

シェアは当社調べ

セグメント別売上高構成比*1

35.9%

売上高*2/営業利益率
(第2四半期累計)



モーションコントロール事業

減速機、直線作動機などの豊富な商品群

「Motion & Control」の分野で、独自の複合化技術と豊富な品揃えを生かし、産業機械の複雑な動きを精密にコントロールするモーションコントロール商品群。舞台の昇降装置や立体駐車場、アーケードの屋根開閉、風力発電や駅ホームの稼働柵など、様々な「動かす」ニーズに的確にお応えしています。

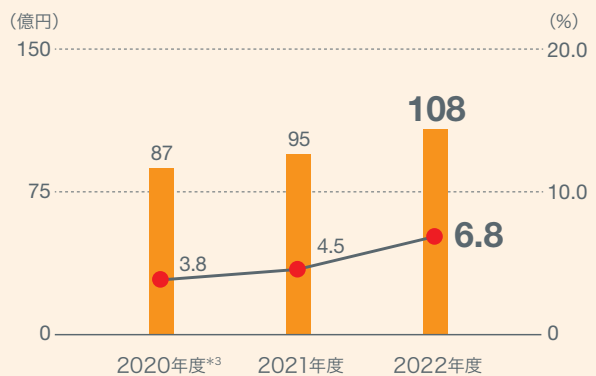
【主要商品】

減速機、直線作動機、軸継手、締結具、クラッチ、モジュールなど

セグメント別売上高構成比*1

8.9%

売上高*2/営業利益率
(第2四半期累計)



2022年度上半期の概況

チェーン事業につきましては、日本、米州、欧州、環インド洋において販売が増加したことなどから、前年同期比で増収となりました。モーションコントロール事業につきましても、日本、米州、欧州、環インド洋において販売が増加したことなどから、前年同期比で増収となりました。



常務執行役員
パワトラ事業統括
永井 康詞

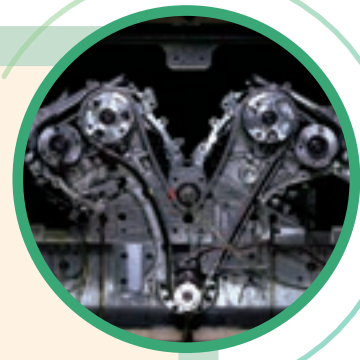
モビリティ事業

エンジンの高性能化を支える タイミングチェーンシステム

自動車エンジンの高性能化、エコ化に寄与するタイミングチェーンシステムは、国内69%、世界38%とトップシェア。その技術と品質は、世界の自動車メーカーから高い信頼を獲得しています。また、EVやe-Bikeなど次世代モビリティの分野でも、エネルギーロス・CO₂排出量削減への貢献を目指しています。

【主要商品】

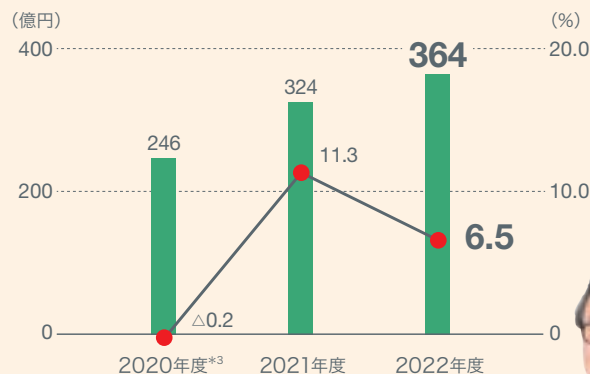
タイミングチェーン、テンショナ、ガイド、レバー、スプロケット、トランスファー用チェーン、APクラッチなど
シェアは当社調べ



セグメント別売上高構成比*1

30.6%

売上高*2/営業利益率
(第2四半期累計)



2022年度上半期の概況

日本における自動車エンジン用タイミングチェーンシステムなどの販売が減少しましたが、米州、欧州、韓国などの拠点において同商品の販売が増加したことなどにより、前年同期比で増収となりました。



上席執行役員
モビリティ事業統括
佐藤 功

マテハン事業

生産性向上に寄与する ソリューションを提供

物流センターにおける自動仕分け装置は、国内シェア70%超。超低温自動保管庫「つばきラボストック®」は、創薬やDNAなどの研究に寄与しています。その他、自動車塗装ライン搬送設備や粉粒体搬送コンベヤなど、お客様の生産性向上、環境負荷低減に寄与するソリューションを提供しています。

【主要商品】

物流業界向けシステム、自動車業界向けシステム、ライフサイエンス分野向けシステム、粉粒体搬送コンベヤなど
シェアは当社調べ

セグメント別売上高構成比*1

23.6%

売上高*2/営業利益率
(第2四半期累計)



2022年度上半期の概況

日本国内における物流業界向けシステムや米州における自動車業界向けシステムの売上が減少しましたが、日本国内および米州、欧州における金属切り屑搬送・クーラント処理装置の売上が増加したことなどにより、前年同期比で増収となりました。

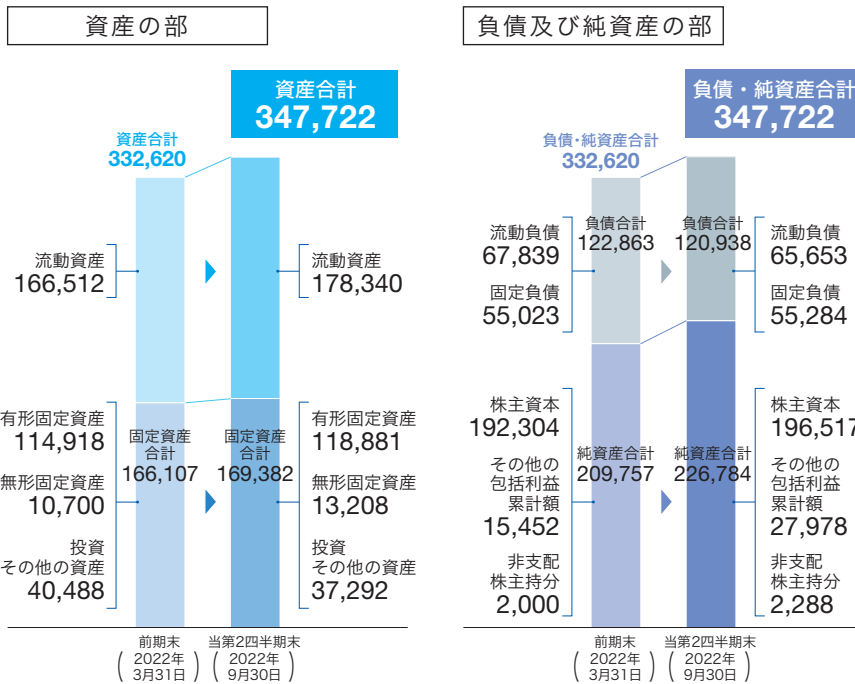
上席執行役員
マテハン事業統括
岡本 雅文



*1 セグメント別売上高構成比は「外部顧客に対する売上高」を基準に算出しています。 *2 売上高には「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。
*3 2021年度よりビジネスの一部をモーションコントロール事業からモビリティ事業に移管しております。2020年度の数値も当該変更を反映しております。

連結貸借対照表の概要

(百万円)



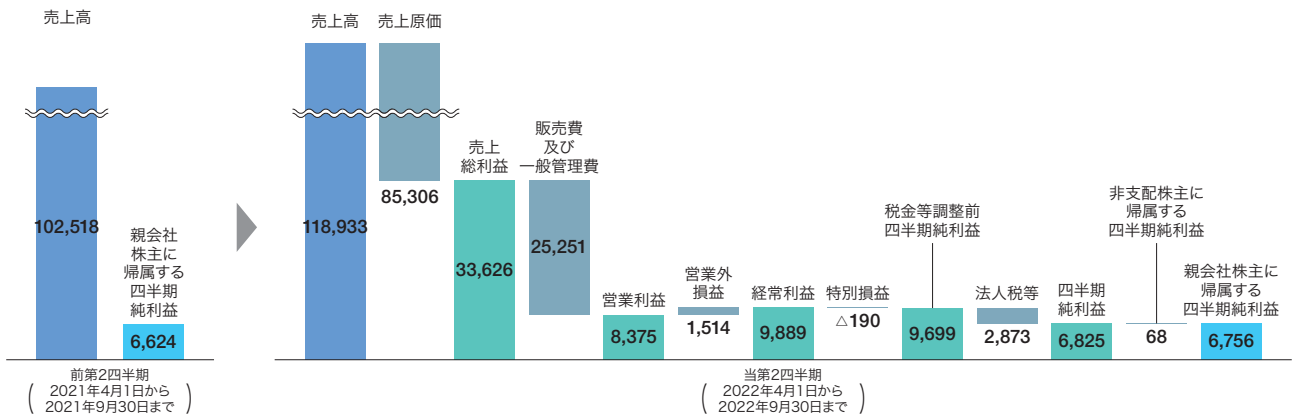
さらに詳しい財務データは、当社ホームページの「IRライブラリ」をご覧ください。

ツバキモト IR

<https://www.tsubakimoto.jp/ir/library/>

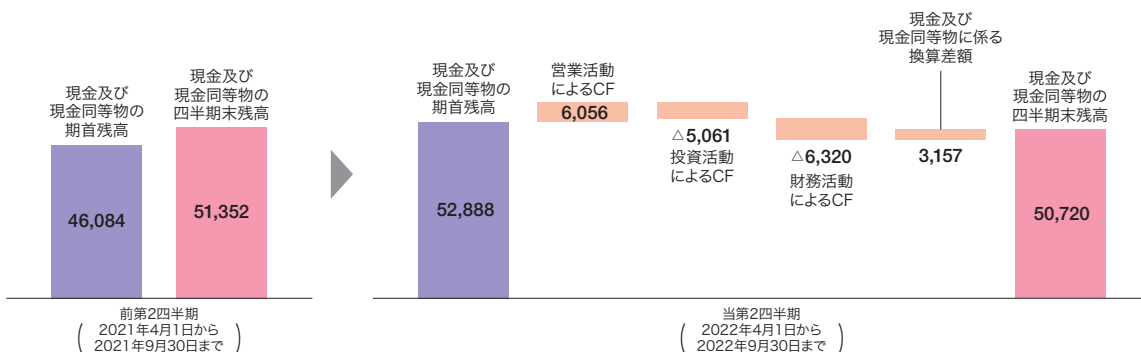
連結損益計算書の概要

(百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(百万円)



2022年9月

機関投資家・アナリスト向け モビリティ工場見学会を開催

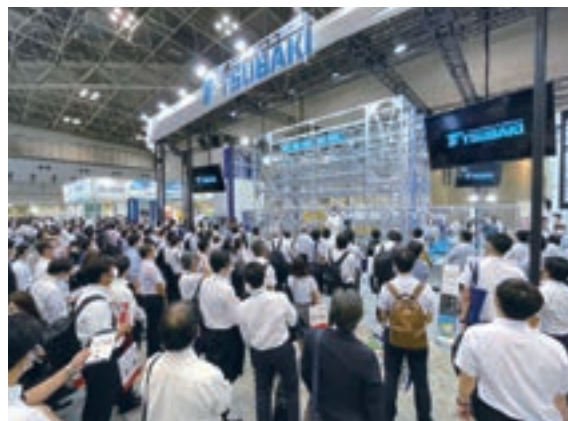
埼玉県飯能市のモビリティ工場において、新型コロナウイルス感染拡大により開催を見合わせていた工場見学会を約3年ぶりに実施しました。中期経営計画2025に基づくモビリティ事業の成長戦略説明の後、モノづくり現場を見学。生産設備や構内物流の自動化のほか、IoTを活用した生産管理システムや稼働状況の見える化を確認したことで、「モノづくり改革」への理解が深まったと高い評価をいただきました。今後もつばきグループの事業内容や成長戦略への理解を深めていただくために、様々な取り組みを行ってまいります。



2022年9月

「国際物流総合展2022 Logis-Tech Tokyo 2022」に出展

国際物流総合展は、最新の物流システム機器や情報システムなど、国内外のロジスティクス関係者が一堂に会するアジア最大級の展示会で、今回4年ぶりに出展しました。展示の目玉は、初披露となる「T-AstroX（アストロクス）」。3次元走行台車が上下左右に動きピッキングするデモンストレーションを実施、多くの来場者の関心を集めました。その他、天井空間を利用した無人モノレールシステム「オートランバンガード」など多くの機器も展示。4日間の開催期間で約7,500名にご来場いただくなど大盛況の展示会となりました。



つばきのサステナビリティ 人権尊重の取り組み

当社は、事業活動を通じステークホルダーの方すべてに幸せをもたらす存在でありたいと願っています。

2020年4月に「人権基本方針」を制定、国際連合が提唱する「国連グローバル・コンパクト（UNGC）」に署名し、2022年3月31日付で参加企業として登録を受けました。

これらをもって社内外に人権尊重の姿勢を明確に掲げ、2021年より着手しているグループ内の人権デュー・デリジェンスを今年度は対象を広げて国内外主要31社にて実施いたします。

今後、日本政府のガイドラインも参考に、サプライチェーン全体への取り組みも進めていきます。

また、人権をはじめとする従業員からの様々な相談事項については、倫理ヘルプライン（2002年設置）、なんでも相談担当（2002年配置）にて対応し、従業員が日々安心して働くことのできる体制整備に取り組んでいます。

会社概要

商号 株式会社椿本チエイン
 本店所在地 大阪府北区中之島3丁目3番3号
 設立年月日 1941年(昭和16年)1月31日
 資本金 17,076百万円
 工場 京田辺・埼玉・長岡京・兵庫・岡山
 支社 東京・名古屋・大阪
 営業所 大宮・豊田・大阪北・広島・九州
 関係会社 連結子会社：65社 非連結子会社：9社
 関連会社：8社(うち、持分法適用関連会社2社)
 従業員数 連結8,708名 単体2,992名
 (従業員数には契約社員、パート、アルバイトを含んでおります。)

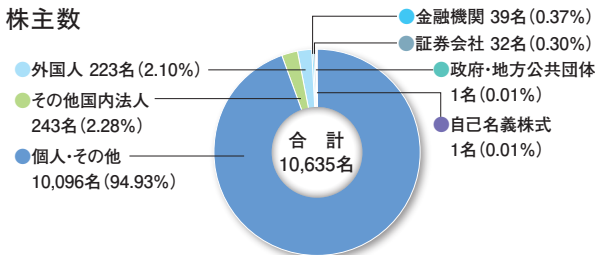
役員

代表取締役会長兼CEO	古世 憲二	上席執行役員	Kevin Richard Powers
代表取締役社長兼COO	木村 隆利	上席執行役員	揚田 利浩
取締役	宮地 正樹	上席執行役員	石田 裕美
取締役	阿部 修司(※1)	上席執行役員	井上 幸三
取締役	安藤 圭一(※1)	上席執行役員	岡本 雅文
取締役	北山 久恵(※1)	上席執行役員	佐藤 功
常勤監査役	田中 浩司	執行役員	西井 久雄
常勤監査役	川崎 加寸也	執行役員	堺和 伸光
監査役	碩 省三(※2)	執行役員	熊倉 淳
監査役	内藤 秀文(※2)	執行役員	丹山 太
常務執行役員	永井 康詞	執行役員	明坂 泰宏
常務執行役員	中村 一智	執行役員	川上 修
		執行役員	前田 隆雄
		執行役員	藤村 昌由
		執行役員	中久保 克也

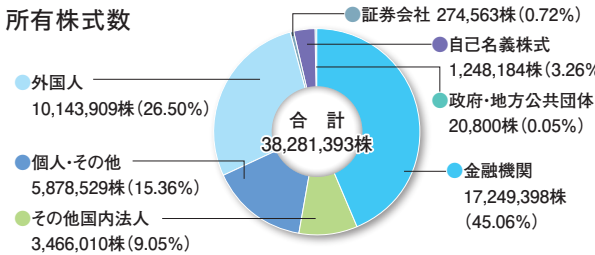
(※1)取締役のうち阿部修司氏、安藤圭一氏および北山久恵氏は社外取締役です。
 (※2)監査役のうち碩省三氏および内藤秀文氏は社外監査役です。

株式の所有者別分布状況

株主数



所有株式数



株式の状況

発行可能株式総数 59,800,000株
 発行済株式の総数 38,281,393株
 株主数 10,635名

大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,289千株	14.28%
太陽生命保険株式会社	3,559	9.61
日本生命保険相互会社	1,773	4.78
椿本チエイン持株共栄会	1,583	4.27
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,583	4.27
椿本興業株式会社	1,158	3.12
株式会社三井住友銀行	1,000	2.70
三井住友信託銀行株式会社	849	2.29
GOVERNMENT OF NORWAY	739	1.99
株式会社りそな銀行	667	1.80

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
 2. 当社は、自己株式1,248,184株を所有しておりますが、上記大株主には含めておりません。
 3. 持株比率は、自己株式1,248,184株を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 受付時間9:00~17:00(土・日・休日を除く) ※取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
公告の方法	当社のホームページに掲載 (事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載)

株主の皆様へのお知らせ

各種手続のお申出先

▶ 住所変更、配当金の受け取り方法のご指定、
 単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

区分	お申出先
証券会社でお取引をされている株主さま	株主さまの口座のある証券会社
特別口座(証券会社に口座のない)の株主さま	三井住友信託銀行株式会社 (上記、電話照会先をご参照ください。)

特別口座について

株券電子化の手続(証券会社の預け入れ)が済んでいない株式は、特別口座にて管理されています。特別口座は株式を売買するための取引口座ではありませんので、株式の売却の際は、あらかじめ証券会社の口座へ振り替えておく必要があります。詳細は、三井住友信託銀行株式会社(上記、電話照会先をご参照ください。)にお問い合わせください。

未払配当金の支払について

三井住友信託銀行株式会社(上記、電話照会先をご参照ください。)にお問い合わせください。

株主通信(事業のご報告)に関するお問い合わせ先

経営企画室 経営企画課

06-6734-6676

株式会社 椿本チエイン

<https://www.tsubakimoto.jp/>

椿本チエイン

検索

